



タンチョウの数かぞえ調査では村内で280羽を確認

毎年恒例のタンチョウの数かぞえ調査（正式名はタンチョウ越冬分布調査／北海道主催）の第1回目が、12月2日に実施されました。この調査は同じ日の同じ時間帯に全道各地でタンチョウを確認・記録するもので、昭和27年（1952年）から続けられています。

この調査は、かつては「タンチョウ生息状況一斉調査」という名称で、生息個体数の把握が主目的だったため、今なお確認羽数の結果に目が行きがちです。しかし、個体数の増加に伴い、正確な羽数を把握することが難しくなりました。そのため、平成24年度から「タンチョウ越冬分布調査」と名称を変更し、大まかな越冬分布や規模の把握に主眼を置くことになりました。

村内では、小中学生や村民のみなさん総勢151名にご参加いただき、64ヶ所で調査を実施しました。全道では406名が参加し、計419ヶ所で調査が実施されました。鶴居村では、全校の児童生徒、地域住民が多数参加し、全域にわたり調査を実施しているため、他市町村と比較して参加人数、調査箇所数ともずば抜けています。地域のみなさんの協力のおかげで、「鶴の居る村」の名に恥じない誇るべき結果になったと思います。

さて、調査の結果は、茂幌呂地区を除く各地区で計280羽が確認されました。昨年度を40羽下回る結果となりましたが、この時期はまだ本格的な越冬地への移動が進んでおらず、村内の越冬個体数が減ったと考えるのは早計です。中雪裡地区と下雪裡地区では、前年比に大幅な増減がありましたが、両地区はひとつのエリアと考えてよいでしょう。全道では野生個体が933羽確認され、昨年度を32羽上回りました。7、8年前から道東地方以外でも少数ながら確認されるようになり、今回も日高、胆振、空知、宗谷地方で確認されています。

多くの村民にかかわっていただくことで、正確なデータを得られやすくなるのはもちろん、関心を持って参加して下さる村民が増えることは、タンチョウとの共生に向けた取組の充実にもつながります。今後も多くの村民にご参加いただけたらうれしいです。1月24日に第2回目の調査が予定されています。

令和4年度タンチョウ越冬分布調査集計表(第1回／村内)

[地区別]

| 調査地区 | | 調査場所数 | | 調査人数 | | 確認数 | | | | |
|------|----------|-------|-----|------|-----|-----|----|----|-----|------|
| | | R4 | 前年比 | R4 | 前年比 | 成鳥 | 幼鳥 | 不明 | 計 | 前年比 |
| 1 | 中久著呂 | 2 | ±0 | 2 | ±0 | 4 | 0 | 0 | 4 | -2 |
| 2 | 下久著呂 | 7 | ±0 | 11 | ±0 | 45 | 5 | 0 | 50 | -6 |
| 3 | 茂雪裡 | 2 | ±0 | 2 | ±0 | 3 | 1 | 0 | 4 | -3 |
| 4 | 支雪裡 | 1 | -1 | 1 | -1 | 4 | 1 | 0 | 5 | -3 |
| 5 | 中雪裡 | 11 | -1 | 31 | +5 | 2 | 1 | 0 | 3 | -100 |
| 6 | 下雪裡 | 18 | -2 | 57 | -9 | 147 | 14 | 11 | 172 | +119 |
| 7 | 新幌呂・上幌呂 | 3 | -1 | 3 | +1 | 2 | 0 | 0 | 2 | -3 |
| 8 | 支幌呂 | 2 | +1 | 2 | -1 | 8 | 2 | 0 | 10 | -12 |
| 9 | 茂幌呂 | 2 | ±0 | 3 | +1 | 0 | 0 | 0 | 0 | -6 |
| 10 | 中幌呂・中幌呂下 | 7 | -1 | 21 | -1 | 11 | 1 | 0 | 12 | -28 |
| 11 | 下幌呂・温根内 | 9 | ±0 | 18 | -1 | 16 | 2 | 0 | 18 | +4 |
| 合計 | | 64 | -5 | 151 | -6 | 242 | 27 | 11 | 280 | -40 |